



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2014

5

Bulletin

2014.5.1発行

第28巻第11号通巻341号

主
題

国際会長 Go Ye Into All The World 全ての世界に出て行こう
アジア会長 Start Future Now 未来を始めよう、今すぐに
西日本区理事 Attend club meetings with a clear motive to make the most of them
志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう
京都部部长 Let us join hands! さあ！手を取り合ってワイズの輪を広げましょう
メネット主任 Let's bring together menettes' power and share the excitement!
メネットパワーを集結し、感動をわかちあいましょ！

聖
句

世も世にある欲も、過ぎ去っていきます。
しかし、神の御心を行う人は永遠に生き続けます。

ヨハネによる福音書 20章27節



『青年に幻を、老人に夢を』

公益財団法人京都YMCA
総主事 神崎 清一

朝日新聞の天声人語で、米国の詩人ウルマンの「青春」が紹介されていました。冒頭にはよく知られている「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う」そして「年を重ねるだけで人は老いない、理想を失うとき初めて老いる」ということを、マッカーサー元帥も愛読していたこととあわせて記されていました。

さて京都YMCAは、本年設立125周年を迎えました。今まで以上に広く社会にYMCAの公益活動をアピールし、これからの京都YMCAの働きを広げていく種を蒔くために、125の記念事業を行います。京都YMCAに関わる会員・スタッフが協働して活動の企画・推進を図り、一人の125歩だけではなく、125グループの一步を創り出し、市民と共に歩みはじめる第1歩となるプログラムを作ってみませんか。舞鶴YMCA国際福祉専門学校の開校、第1回The Y cup 京都ミニバスケットボール大会開催、ユニバーサル映画上映会など、すでに新しい取り組みが始まっています。

また、今年度の年間聖句を、聖書：使徒言行録第2章17節「青年に幻を、老人に夢を」とさせていただきます。若者が大いに夢(ビジョン)を持ち、語り合い、それを実現していくことを期待し、老人が寂しさや不安ではなく、いつまでも若者と共に夢を見続けることのできる社会をめざして、125の記念事業を行うこととあわせてのメッセージとさせていただきます。

京都YMCAはワイズメン、リーダーならびにリーダーOB、ボランティアをはじめとした会員の皆さんの力によって支えられているYMCAです。また、多くの活動もその皆さんによって進められています。より一層これまでの活動を充実させ、あるいは社会の課題に新たに取り組みを行いましょ。

先述の天声人語の最後には「60代は高齢者に非ずの意気と体力を、50代は今から鍛えるとするか。」とありました。私たちワイズメンならびにYMCAの活動は、まさに意気と体力を鍛える場でもあります。ぜひ、125周年記念事業を通して幻を見、夢を語らい、実現に向けてともに歩んでいまいましょ。

会長主題

バランスよく協調

クラブに対するメンバー個々の100%の関わりを求めて

会長 三村 良行
副会長 小野 敏明
飯尾 豊
書記 森 伸二郎
会計 蔭田 茂夫
林外会長 三村 和美

進修月間

Leader Training

5月 例会案内

7日(水) 通常例会

「これだけは知っておきたい健康の秘訣」健康運動指導士の山本様をお迎えします。

18日(日) かもがわ

チャリティラン

好評のホットドック、今年は200食販売いたしますので、皆様のご協力に期待しています。みんなで春の一日を楽しみましょう。

例会出席

4月第一例会	13名
4月第二例会	11名
在籍者数	16名
広義会員数	2名
出席率	92.9%

BFポイント

切手	pt
現金	円
累計	24,492円

ファンド

	0円
	0円
累計	305,940円

ニコニコ

4月第一例会	0円
4月第二例会	0円
累計	37,350円

4月第一例会 ファミリー例会

2014. 4. 6
三木 貴夫



今日は、年に一度のファミリー例会。暖かい日が続いていましたが、天気は昨日から冬に逆戻り。4月とは思えないすごく寒い一日でした。今日のメニューは愛宕山の麓“水ノ尾”の里での柚子風呂と地鶏の水炊き。本来ならば、JR嵯峨嵐山駅から徒歩3時間ほどのトレッキングの後のお楽しみでしたが、昨夜からの大雨のせいで、JR保津峡駅まで列車利用に変更。そこから

徒歩チームとバスチームに分かれてのアクセスとなりました。

ほとんど全てのメンバーとメネット、コメント合わせて20名ほどのにぎやかな例会でした。暖かい柚子風呂を頂いた後のビールは最高！思わずグラスのおかわり。地鶏の水炊きも又歯ごたえと味の深みのある大変おいしいものでした。お昼にもかかわらず、メンバーのお酒も進み、にぎやかな会話の中、あつという間の2時間半でした。

帰りは、酔い覚ましをかねて、“水ノ尾の小道”を散策しつつ保津峡駅まで歩きました。僕は、新年例会以来の久々の出席でしたが、比較的新しいメンバーの方も、すっかりクラブに溶け込んでおられ、着実に次の世代にバトンタッチできているなと思いました。楽しい一日でした。



4月第二例会

2014/4/16
斎藤 謙治



4月16日 京都プリンスホテルにて、卓話例会として開催されました。

ゲストスピーカーは京懐石・美濃吉十代目当主 佐竹力総氏、テーマが、『世界に誇る日本の食文化』というプログラムで、和食・日本食文化がユネスコ無形文化遺産登録のタイムリーな企画でしたので、メンバーを始め多くのゲストの参加を頂き、いつもの例会会場が狭く感じられました。三

村会長の開会点鐘で開会し、楽しみの食事時間、メニュー決定にあたっては、苦心された事が推察される洋食でした。いつも通り大変美味しく頂きました。

ユネスコ登録の申請から登録決定まで尽力された佐竹氏の、ユーモアを交えた裏話は非常に興味深いものでした。氏だけではなく関係者皆様の御苦労は大変なものがあつたと知りました。ユネスコ登録は喜ばしい事だという反面、和食・日本の食文化が、動植物でいうところの絶滅危惧種である、それゆえの認定だという話には、少なからずショックを受けました。食文化とは料理だけではなく食器・しつらい・装い・ふるまい・おもてなしの心等の全てを含むものでありと規定するならば、今では一部の料理屋でのみ供されるものとなりました。

「いただきます」「もったいない」といった生命への畏怖の念を表す言葉も、日本特有の言葉で、その精神こそが和食の原点だそうです。食文化が全ての文化の礎とするならば、食文化の崩壊は日本人のアイデンティティの消滅にも繋がると思います。

近年教育の現場でも「食育」が重要な課題となっていますが、日本食文化を正しく理解し、日々の家庭の食卓に取り込むことで、世界に誇れる文化として、次代へ引き継いでいく責務だと考えます。確実に食料危機が訪れる近い将来に向かい、今一度、食について考えなければならぬ時だと思いました。



リトセン夜桜フェスタ

2014. 4. 20
辻中 康宏

一昨年は満開とはいえない夜桜フェスタ、昨年は桜の花が散ってしまった夜桜フェスタでした。前日の天気予報では、「曇りのち一時雨 降水確率50%」でしたが、「今年こそ！」という実行委員の皆様をはじめとする多くの方の熱い祈りで、雨雲も散り、「曇り」に変わり当日を迎えました。念のための雨よけテント設営も多くのワイズメンがお昼ごろに集まっていたので、準備を進めました。皆の祈りがかない、満開の八重桜が咲く下で、神崎総主事の挨拶で夜桜フェスタが始まりました。京都YMCA国際福祉専門学校日本語科の留学生約30名の招待参加で国際色豊かで、リーダーの参加もあり、286名のみなさんが、来場されました。屋台では、ウエルクラブ自慢の揚げたこ焼をはじめ、各ワイズメンズクラブによる天ぷらうどん、焼そば、フランクフルト、ローストポーク、豚まん、串カツ、焼き鳥、ぎょうざ、カレーライス、焼きとうもろこし、ポップコーン、みたらし団子、フルーツポンチが振る舞われ、ステージでは、パントマイム、大道芸、カントリーミュージック、ものまねパフォーマンスが行われ、来場したみなさんの交わりのときが持たれました。午後7時にライトアップされた八重桜はとて素晴らしいかったですし、揚げたこ焼も完売できて良かったです。来年も多くの方と夜桜フェスタで交流できることを心待ちにしています。また、4/27のテント撤収では多くのワイズメンやリーダーが集まっていたご協力に心から感謝です。



キャピタル30周年記念例会

2014. 4. 5
蒔田 茂夫



4月5日(土)ウエスティン都ホテル京都において京都キャピタルワイズメンズクラブ30周年記念例会が盛大に開催されました。例会は二部構成されていて、一部は記念式典二部は懇親会というかたちでした。

記念式典ではクラブ誕生30年の歴史や歴代会長の紹介、記念アクトの紹介などがありました。懇親会ではハワイアンありタップダンスありで会場は楽しい雰囲気良かったです。わたしも楽しませて頂きながら多くのワイズメンとの懇親を深める事ができました。

会の終盤にはキャピタルクラブメンバーでのタップダンスが披露されました。非常によく練習されたので皆様大変上手に踊っておられました。金原会長の主題「さあみんなで30周年を楽しもう！」の通りメンバー皆様全員が楽しんでおられる様子でした。

しかしこの様に立派な例会を成功させるには相当の御苦労があったと思います。例会時にBINDという言葉を使っておられましたが、文字通りメンバーの結束力なしではできない事だと思いました。会がお開きになった直後、会場のあちらこちらから達成感あふれる空気が伝わってきました。わたしもすごく気持ちよく会場を後にしました。ありがとうございました。



クラブ徽章を掲示

広報事業委員長
岡西 博司

かねてからの懸案であったワイズのマークを、我々の例会場であるグランドプリンスホテルに飾ってもらおうと言う事で、ホテルにお願いしたり、ワイズの日本区事務所にその様なものがあるのか等、いろいろと手を尽くし、ついに我がクラブ独自でクラブの徽章を作り、飾ってもらう手筈となった。

横には、ロータリークラブやライオンズクラブのマークが掛けられており、それ等とのバランスを考えて、掛けて頂くことになったのである。これも、広報活動の一つと言う事で、広報主査にも連絡を取りました。是非、全国のワイズにアピールして頂きたいものである。





高槻クラブ
森本 榮三

心の支え「ノーブレス オブリージ」

ノーブレス オブリージ(noblesse oblige)というフランス語があります。辞書によると、高貴な人、豊かな人、地位のある人、立派な人、がそうで無い人を助ける義務があるという意味だそうです。

私が35歳の頃、当時勤めていた会社のお得意さまで、海外事業部に勤務されていたT氏と食事をした時、「あなたは何か奉仕活動されていますか？」と聞かれ、「いやー、青年会議所の厄介者会員で、例会はいつも欠席。ほかに特別なことはやっていません」、と答えるのがやっとでした。

T氏は言いました。「僕も何もやってなくて海外に行つて随分恥ずかしい思いをしたんです。米国や欧州の人たちとお付き合いが深まると、食事会やパーティ

では必ずと言っていいほど、特に奥様たちから貴方や奥様は何か社会奉仕活動をされていますか？と聞かれ、身が縮む思いでした」と。そして冒頭のノーブレス オブリージという言葉が聞かされたと言います。T氏は帰国後すぐに国際奉仕団体に入会、晩年はその団体のガバナーを務められました。

その時の私は「そんなもんかなー」と思っていたのですが、5年後にマザー・テレサに出会いマザーの献身的な奉仕から、ノーブレス オブリージの意味を身を持って理解できました。その頃、大阪高槻クラブがチャーターされ息子2人が体育館プログラムでお世話になっていた、高槻YMCAの主任主事から入会のお誘いを受け入会しました。

私は、ことボランティアに関しては「頼まれれば断らない」、「自分でできる事は自分です」、をモットーにワイズライフを“楽しみ”ながら過ごしてきました。自分も楽しくなければ活動は続かない、と思うからです。

ある団体の講演会で、終戦後のアジア復興のための公認機関ララ(Licensed Agencies for Relief in Asia: LARA)からの救援物資が日本人を救ってくれたという話を聞きました。昨日まで戦争をしていた当事国である米国のNGO 13の連合体で、労働組合、ボーイスカウト、協会団体、日系人団体が入っていました。そのLARA が昭和20年の暮れから6年間に渡って援助物資を送ってくれました。衣服や医薬品、食料品等々です。日本の社会福祉協議会の年鑑によると、その総額は当時のお金で400億円だったということです。昭和21年の日本の一般会計予算が1,190億円といわれていますので、それがいかに大きいものだったかが分かります。また、その他にも、CARE(Cooperative for Assistance and Relief Everywhere)という米国のNGOが単独で5100億円近い支援をしてくれたという記録も残っています。LARAやCAREが私たちにしてくれた奉仕があつてこそ、戦後の復興を経て今の日本があることを忘れてはならないと思います。

3月に72歳を迎えた今、私の心の支えでもある「ノーブレス オブリージ」は、自分の身丈に合ったものに手を差し伸べることを続けることで、ワイズの良さ、楽しさをエンジョイできていると思っています。

この度は伝統ある京都プリンスクラブの「ワイズ談義」に寄稿させて頂いた事に感謝いたします。

サンライズクラブだより

4月は山中ワークが19日(土)~20日(日)に行われる関係で、5日(土)に第二例会が開催されました。5月のあずさ部評議会の打ち合わせを行い、早めに切り上げて打ち上げに向かいました。

ワークは桜の木の周りの柵が朽ちかけてちょっと危ないので撤去作業をしました。生憎の小雨模様で十分なワークが出来ませんでした。富士五湖クラブとの合同例会も、サンライズは早退者、ドタキャンがあり、こじんまりとしたものになってしまいましたが、夕食はパーティー食を用意してもらい、夜遅くまで懇親の時を持つことが出来ました。今年も残念ながら花見には少し早すぎました。来年こそは花見の時期に合わせてワークを行いたいと思います。

東広島クラブだより



京都YMCAは 今年 創立125周年を迎えます。
125周年のさまざまな記念事業が始まります。ご協力・ご参加 よろしく願い申し上げます。

1. 第10回 京都YMCA かもがわ チャリティーラン スポンサー(協賛金・物品寄付)募集中!

チャリティーランへの支援は、心身に障がいのある子どもたちの支援へつながります。

この大会の主旨に賛同し、応援していただく方を募集します。集められた寄付金のうち、経費を除くすべてをYMCAが行う障がいのある子どもたちへの活動やその啓蒙活動に使用させていただきます。

協賛金によりサポートする
法人・団体 10,000円/一口
個人 5,000円/一口

物品を提供する
物品の提供を受け付けております。入賞への励みや抽選会の賞品として選ばれ、参加者の皆さまに大変喜ばれていたたいです。

競技に参加する
個人やチームで力をあわせて記録に挑戦したり、賞状や中賞と楽しみながら走るこのチャリティーラン。参加費が寄付金となります。

参加賞の Sponsor としてサポートする
競技参加賞品に当たる時計型タイルの製作費を Sponsor を募集しています。タイルに Sponsor を掲載します。

出場チームの Sponsor としてサポートする
競技に参加するチームの参加費を補助していただく Sponsor を募集しています。出場チームの Sponsor を募集しています。

ボランティアとして参加する
大会当日の運営をサポートしていただける方を募集しています。応募も、応援する方も、みんなが楽しめる大会を目指しています。

さまざまな形でご協力いただけます。

たくさんの子どもの笑顔が育まれました。

公益財団法人 **京都YMCA**

京都YMCAかもがわチャリティーラン事務局
京都市中川区三雲路橋西詰北側河川敷(本会場)
TEL 075-231-4388
e-mail: c-run@kyotoymca.org

チャリティーランは、参加費が寄付金となる大会です。チームで力をあわせ楽しみながら走るこのチャリティーランで集められた募金は、YMCAの行う障がいのある子どもたちのキャンプやプログラムに支援金として活用されます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

日時 5月18日(日) 午前9時～午後3時[選手受付

8時30分開始] 雨天決行
場所 鴨川公園 出雲路橋西詰北側河川敷(本会場)
スポンサー募集
趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。
協賛金 一口 10,000円(法人・団体) 5,000円(個人)
物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品
皆様のご協力よろしくお願い致します。
お申込み・お問い合わせは 電話(075)231-4388

2. 会員協議会のご案内

京都YMCAに連なる全ての普通会員が集まり交流する場です。会員の行う様々な活動の発表の場でもあります。公益財団法人になって新しくできた第3回の会員協議会です。多くの方の参加をお待ちしています。
日時 6月27日(金) 午後7時～9時
場所 京都YMCA 地下マナホール
お問合せ 電話(075)231-4388

3. ボランティア養成講座 音読(朗読) 2014年5月スタート!

ボランティアとして活動する一歩をふみだしてみませんか? まったく未経験の人も、声の仕事や部活を経験した人もどちらも歓迎!
講師 安田知博氏 フリーアナウンサー・音訳(朗読)指導者。先天性の視覚障がい。立命館大学で福祉を学ぶ。現在日本ライトハウスなどで音訳ボランティアの養成講座を担当するほか、全国20県で高校放送部の指導に携わっている。NHKEテレの「リバラ」で、副音声(解説放送)のナレーション担当、さら尺八奏者として音楽活動など多方面で活躍している。
日程 5月17日・5月31日・6月21日・6月28日・7月19日・8月2日 いずれも土曜日
時間 午後2時～4時
場所 京都YMCA(三条柳馬場)
受講料 1,000円(1回)・5,000円(6回)
お申込み・お問い合わせは 電話(075)231-4388
お問い合わせ 会員部075-231-4388

4. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第88回苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。
日時 5月17日(土) 午後7時～9時
場所 京都YMCA(三条柳馬場) 参加費 お一人 300円

4月度 役員会報告

報告事項

- クラブ徽章をホテルに掲示しました。
- 今期の事業報告書を5月20日までに書記まで提出する。
- かもがわチャリティーラン、お弁当・お茶・金券を参加者全員に配布する
- 次期の委員会配属が発表されました。

承認された事項

- ファミリー例会収支報告

5月 スケジュール

- 7日(水) 通常例会 19:00 グランドプリンスホテル
- 18日(日) かもがわ チャリティーラン 8:00 鴨川公園
- 20日(火) 三役会(W) 未定
- 24日(木) 三役会(P) 会長宅
- 28日(水) 役員会&EMC懇親会 19:00 だるまや
- 6/1日(日) 次期役員研修会 16:00 京都ガーデンホテル

5月 Happy Birthday

- 15日 奥村 治
- 17日 三木 貴夫
- 21日 辻中 康宏

<編集後記>

次期には、我がクラブの歴史なんかのコーナーを作って貰えると良いですね。新しいメンバーには、やはり必要な? 今の日本も一緒のような気がしますね。